

絶対に死なない
早いもので前村長の死
去後すでに一年を過ぎし
た。

「去る者は日々に」と言っ
てあるが、村民の方々が故人
をおもてたことはいまも
ぬきである。

六月一日は命日であったため多
数御参拝され、香花のたゆむ
まはなく、今更故人の幸福を痛
感した。尚公民館では故人の
生前の録音や関係の深かった方々
のおもい出話も放送され、聞かれ

た人々が声をそろえてなつかし
くおられた状態を見て有難い事
だと感激した。

方から愛され慕われる事、自分が
計画した事業も皆さんの御協力に
よって着々実現の運びに進みつ
た事をおもて「おれは絶対に
死なない」と書いた絶筆も決して
意味のない事ではない。

我々は常に先人の残した事業
に多大の敬意をもつと共に、更
にその発展と成功に懸命の努力
を惜しんでほしい。義務がある
ようである。村の発展、希く
先人の英気を永く伝えよう
たいものである。

高崎山は名のように高く、海に
むかひそそり立っている。金山
も、さながら神にたたりなした
逃げたきでまじっている。

暗きかたがすぎまじい。たえ
うれしがって暗いとしたても、あ
まりよい感じはない。

お寺の五時を告げるケイタクの
音が山の中にひびきわたると、店
も陳列を整理しはじめた。帰るか
ける上原様は猿が前を横切った。
よくみる子猿が親猿の腹にやも
りのようにへばりついているのだ
った。抱きつかれている親もきつ
かろうがくっついていっている子猿は
おきついている。子猿を育てる
母親の苦労は人間とかわらぬよう

会記録技競カヌー県 への五輪次第練習 現実夢

去る、
五月二十
六日水俣
川レース
コースで
第一回県
カヌー記
録会が津
奈木村五
人乗り
名水俣市
十五名の
選手が参
加して行
われた。
本村代表
の選手は、千米カヌーアン入
乗り、二人乗り出場しこれまで
の記録を上回る好記録を出した。
なかでも、柳田選手はカヌー
アンでは五分二十八秒を出し関
係者を「アツ」と云わせ、来る、
二十九、三十、七月一日の三日間
東京で行われるヨーロッパ派遣選
手選抜大会入選の希望を大きくし
あげたことになり、本村では

平岡校区野崎順太氏、赤崎校区高
木武男氏、津奈木校区成田忠夫氏
方に御座り下さい。

三、届出の際は会費年間五百円（
本年度の方は千円）と、印かん
を本年御届の方は千円と、印かん
及び履歴書を御持参下さい。請求
者は印かんを押すばかりに書類を
整備して貰えます。

四、御不審の点は役場厚生係及び
前記三名の方々に御尋ね下さい。

校内小学校球技大会
開く
去る六月十一日教育委員会と教
職員組合と共催で津奈木小学校、

八代税務署
移転お知らせ
八代市花園町一六の二
（八代市市野上球場の隣）
代表電話三二四一番

学力の向上をめざす
村内小中学校
小学校と中学校の一部の学力調
査の結果、津奈木は全国で下位に
あり、津奈木町内他市町村と比
較してあまり良い成績ではありま
せん。

三、届出の際は会費年間五百円（
本年度の方は千円）と、印かん
を本年御届の方は千円と、印かん
及び履歴書を御持参下さい。請求
者は印かんを押すばかりに書類を
整備して貰えます。

四、御不審の点は役場厚生係及び
前記三名の方々に御尋ね下さい。

校内小学校球技大会
開く
去る六月十一日教育委員会と教
職員組合と共催で津奈木小学校、

八代税務署
移転お知らせ
八代市花園町一六の二
（八代市市野上球場の隣）
代表電話三二四一番

八代税務署
移転お知らせ
八代市花園町一六の二
（八代市市野上球場の隣）
代表電話三二四一番

今月の納税

村県民税（二期）納期日 六月三十日
固定資産税（二期）納期日 七月三十一日

必ず投票しましょう

参議院議員選挙

七月一日は参議院議員の通
常選挙です。
有権者の皆様は、もうすでに投
票の心構えができておられると思
いますが、もう一度「正しい選挙
」が私達の住みよい国となるもと
であることを考え、甘言や、義理
金等に惑わされず、自分の信ずる
立派な人に一票を投票するよう
にしましょう。

参議院とはこんなしくみに
なっています。
投票できる年齢は、他の選挙と
変わりませんが、参議院では、議員
の任期は満6年となっています。
その任期は満6年となっています。
そして参議院には解散がありません
が、参議院には解散がありません
が、参議院には解散がありません

好天気に恵まれた、五月二十四
日は選挙の日です。猫の手もか
かりたい忙しな一日であったらう
が、この日は、赤崎地区一同にと
して、県営漁港改良局改修事
業竣工式が行われる喜びの日
です。

投票用紙に地方区の候補者名
を書き、地方区の投票をします。
そして、次に渡される赤刷の投
票用紙に全国区の候補者名を
書き、全国区の投票をします。こ
れで、あなたの参議院議員選挙は、
全部を終えることになります。

非常にお忙しいときですが、七
月一日は、必ず投票されますよう
に注意して下さい。
津奈木村選挙管理委員会

一、土壌流亡防止
年間を通じて降雨量の最も多い
時期であり、流失水と共に流す
る土壌は相当の量になり、これを
防ぐ事が果樹栽培管理のなかで最
も重要な作業と云えます。
対策としては、敷設を充分敷込む
事で良いが、敷設が不足する様で
あれば草生栽培法を敷入れ、土止
め策を講ずる。これが大切である
この場合種々の草生栽培を実施
してもよいが、必ず梅雨前
一回の刈込みが必要である。
刈込みをする時は、刈り短く刈込ま
ない様に注意する。

二、成樹の移
植
三月に移植困
難な成樹も六月
の梅雨期間にな
れば容易に活着
するので、移植
計画のものは此
の期に実施され
るとよい。掘取
り作業は細根を多く着けることが
大切で、細根の多少に依り活着の
良否が支配される程であり注意さ
れたい。

三、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

四、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

五、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

六、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

七、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

八、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

九、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十一、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十二、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十三、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十四、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十五、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十六、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十七、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十八、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

十九、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

二十、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

二十一、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

二十二、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

二十三、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の捕殺に努むべきである。産卵
していた場合は適確な殺卵方法が
ないので卵を潰しておくと大切
である。
予防剤として色々な薬剤が発表
されているが、多くの効果あるもの
が少なく、捕殺剤が一番確実であ
るが労力や他の農作業との関係で
は巡回回数が少なくなる場合が手
間がかかる。十分な水を散布すこ
とが大切である。

二十四、病害虫の防除
Aミカングシガ（エカキムシ）
今年もエカキムシの発生時期と
なった。放任すると樹の生育を甚
しく阻害するので、樹を大きくす
る幼木では、せたい、この防除
を怠ってはならない。
エカキムシの被害はカイヨウ
病の感染源ともなるので注意を要
する。すでに侵入した幼虫に対す
る薬の効果は充分でないで、極力
幼虫侵入防止をねらって初期防除
に主点を置くべきである。防除方
法は新梢が伸び始めると同時に硫
酸ニコチン四〇多の六〇〇×八〇
〇倍液を五〜七日間隔で数回散布
する。

Bホシカミキリ（ツツボムシ）
六月末よりホシカミキリ（天牛
）の発生が多くなり七月頃より産
卵を始めるので、ほ場を見廻り成
虫の